

Basketball information magazine delivered by on the court

HUSTLE BOARD

BASKETBALL COMMUNICATION PAPER

VOLUME
003



最強を纏う

NO HARDWORK, NO HOOPREX

FIBA WOMEN'S OLYMPIC QUALIFYING TOURNAMENT 2024

女子日本代表“パリ切符”獲得

デンソー アイリス
トヨタ紡織 サンシャインラビッツ
wearing HOOPREX

神戸ストークス
男子日本代表
HOOPREX START

[Special crosstalk]

京都産業大学 大阪体育大学

KSU × OUHS = 村上夫妻

全国ミニバス大会

福住ドリームマジックス

OTC クリニック in 長野

レンタルコート ルポ

[Special conversation]

二刀流対談 完結編

TOPIX プレゼント

Nissy's TRAVELING TALK



TAKE FREE

ご自由にお持ちください。

国内最高峰「最強」は誰だ／Wも、Bもプレーオフへ

第25回Wリーグはいよいよ佳境、3月30日から始まるプレーオフに向けて、各チームともこれからさらにギアを上げる。レギュラーシーズンの最終順位は未定だが(3/3現在)、進出チームの顔ぶれはほぼ見えてきた。今回は特別に、フープレックスブランドに身を包んだ選手たち(デンソー アイリス、トヨタ紡織 サンシャインラビッツから4名ずつ)に、今季のことやプレーオフに向けた意気込みなどを聞いた。さらにデンソーの4選手には創部以来初のタイトル、「皇后杯初優勝」にまつわる喜びの声も。男子はB2神戸ストークスの戦いぶりをレポートする。



#6 本川紗奈生選手

喜びひとしおの初タイトル

「優勝まで」長過ぎましたね。リツさん(#8 高田真希選手)ほどではないですけど、高校時代からの夢が叶いました。そうふり返るのは#6 本川紗奈生選手。果敢なゴールアタックや3ポイントなど、得点力を武器にしてきたが、

「以前は『自分が』でしたけど、今は要所でチームを勢いづけるプレーに徹しています。与えられたプレータイムの中で、何をしなければならぬのか、そこに集中できていると思います。例えばリツさんとのピックゲームならリツさんが空いてくる、あるいはアウトサイドのコウ(#88 赤穂ひまわり選手)が3ポイントを打てるというように、自分の仕掛けで選択肢が広がります。そこはすごく贅沢に選べますか



#23 篠原華実選手

ら、今は楽しくプレーできています。プレーオフに向けては、「役割は変わりませんし、チームとして今やっていることの精度を上げていくのが大事。チームに自信があるし信頼もしています」と、チームメイトを鼓舞し続ける。

#23 篠原華実選手の第

ことってあるんやっと思いました。続けて、「昨年、皇后杯で負けましたが、相手は優勝するだけのなんかなって、正直感じました。上手く言えないんですけど。」

その「なんか」は手に入れたのだろうか。

「優勝したけど気分悪い、まだ自分たちは『挑戦者』だという気持ちには変わりません。私に限らず選手それぞれが、チームとして良いマインドでプレーオフに臨めそう」と、プラスの気持ちの変化を感じている。

「私はまずディフェンス、ディフェンスでチームに勢いをもたらす。ヴラダHC(ヴラディミール・ヴグサノビヴィッチ)が就任したとき、そこを褒めてもらえて、『いいよ』って。改めて『そうなんや』って気づけました。あとは3ポイントも。空いたら打つというのは私の仕事。この2つを心がけて臨んでいます」と、自らの役割をまっとうする。

二冠達成はチャレンジ精神が必須

今回は皇后杯からは少し時間が経っていたことも

あり、冷静な受け答えも(!?)

「最高でした。中学や高校、大学でも優勝はなくデンソーで初優勝。『これが優勝か』って……」とは#10 渡部友里奈選手。クールなイメージがあるが、「一番にコートに走って行きました」と、チーム広報の今井さくらが隣で囁くと、「フライングでした」と、チャリミングな笑顔で喜びをかみ締める。

今シーズンのプレーについては、

「あまり変わらないですが、自分のセットプレーを用意してもらえらることになり、高確率でシュートを決められるようフォーカスしながら練習してきました」とのこと。ただスタッツを落としていることが気になる重ねて聞くと、

「やっぱり考え過ぎのところがあるかも。これまで自分の感覚を大事にして、流れに乗ってシュートに行くようなプレーが多かったと思います。確率を上げなければと意識し過ぎていたのかな……でも、皇后杯ぐらいから



#10 渡部友里奈選手

杯ぐらいから気持ちよく打っている感覚があります」と、持ち味のアグレッシブなプレーを取り戻している。

「昨シーズンはレギュラーシーズン1位。今シーズンは皇后杯を制したので、次はレギュラーシーズン1位から良い流れでプレーオフも勝ってリーグ優勝。勝つことにこだわりたいと思っています」と頼もしい。プレーオフでは彼女らしく印象的なプレーを披露してくれそうだ。

#24 バイクンバディヤサン選手は、

「(デンソーは)優勝経験がなかったので、すごく嬉しく思います。岐阜女子高校時代は先輩たちが優勝

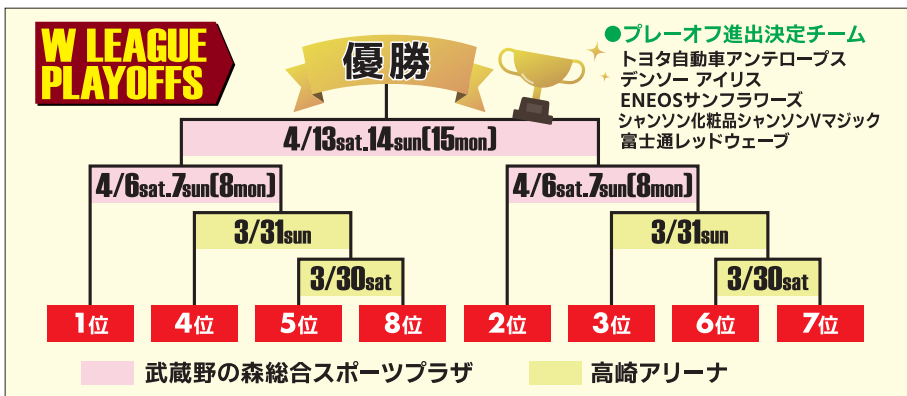


#24 バイクンバディヤサン選手

していましたがデンソーはみんな初めて。だからまた違った気持ちがありました」と、素直なコメント。インサイドの要として成長が期待されているが、「自分はポストプレーとリバウンドが得意なので、それでチームに貢献したいと思っています。ただ、Wリーグの選手は当たりが強いので、シーズン前は体を強くしようとトレーニングに励みました」というように、その成果を存分に発揮する。

チームプレーへの理解が深まり、「オフenseリバウンドを取って、そこから自分で点を取るのが一番嬉しい」というクン

バ選手。対戦相手にとって、はますます脅威になりそうだ。チームを代表してファンへのメッセージは、「チームの目標は二冠を獲得すること、一つ目は達成しました。あとはリーグ優勝です。みんなでデンソーを応援してください。ファンのみなさんの温かい声援が力になります。よろしくお願いします！」



THE BATTLE THAT CANNOT BE OVERLOOKED CONTINUES



#11 崎原成美選手



#18 伊波美空選手

2年目の#30オドボ エンデュランス選手は、「今シーズンにはチームのルールが理解でき、Wリーグのこともイメージできています。まだ成長の余地はありますが、プレーに自信がついてきました。センターとしてはサイズがない(180cm)ので、パワーを活かしたい。少しずつステップアップできていると思います」とプレーオフに挑む。

ヘッドコーチ交代をひとつのきっかけに、「身体能力は高いほうだと思っているので、アグレッシブさと気持ちの強さ、それにディフェンスのタフさをアピールしようと思っています。ピック&ロールでスクリーナーになることが多く、その部分は先輩方から『合わせやすい』と言われ自信がついてきました」と、手ごたえも感じている。



#30 オドボ エンデュランス選手

「高1高2の頃はコロナ禍でした。今はたくさんのファンの前で活躍でき、勝つところをお見せできるのが楽しいと感じています」と、ワクワクが伝わってくる。

トヨタ紡織はルーカスHCの手腕と、若手の躍進が

大いに楽しみ。リーグ初制覇に挑むデンソーとともに注目だ。

新指揮官の下でステップアップ！

今シーズン、新指揮官にルーカス・モンデロHC(前トヨタ自動車アンテロープスHC)を招聘したトヨタ紡織。プレーオフ進出はもとより、昨シーズン(7位)以上の成績を狙っている。

「確実にステップアップしています。今シーズンは練習中から先輩たちと高い強度でバチバチ……3年目に懸ける気持ちが強いです」と決意を語るのは#11崎原成美選手。

ルーカスHCからは「1番と2番をやるように」と指示を受けている。まだ迷いがありつつ、「どういう意図で起用されているのかを理解し、自分の仕事ができるようにしたい」と前向きにとらえている。

最後はルーキー、#7都野七海選手。アンダーカテゴリーの日本代表経験があり、大阪薫英女学院高ではキャプテンを務めた。性格は「超負けず嫌い!」とのこと。全試合に出場し、プレータイムはあるものの、「すごく勉強になりますし、いい経験だと思っています。同年代のルーキーに比べるとプレータイムは少ないので、そこは負けたくないしちょっと悔しいです。ただ焦らず、自分らしくプレーできたいなと思っています」と、強い気持ちを持ちながら、冷静に自分を見つめている。

若手の成長＝チームの躍進

桜花学園高で三冠を達成した#18伊波美空選手も2年目。入団当初は「通用するかわからなくて……」と戸惑いがあったという。が、高校時代から磨いた3ポイントで頭角を現す。

「(3ポイントに)力を入れて、打ち込んできました。オフも空いている時間は3ポイントの練習をして努力を続けています。高校時代からバスケットができる環境に恵まれ、打ちたい時にシュートが打てる。バスケットに打ち込むことで、ステップアップにつながりました。そういう環境があったから、思った以上に早くステップアップできたと思います」と、感謝の気持ちを忘れない。

#7 都野七海選手

強豪相手での奮闘が光る#30金田

昇格争い正念場——
タフに戦う神戸

B2 東地区		
順位	勝	負
1	A千葉	38 3
2	越谷	25 16
3	青森	21 20
4	山形	20 21
5	福島	16 25
6	岩手	12 29
7	新潟	6 35

B2 西地区		
順位	勝	負
1	滋賀	29 12
2	福岡	28 13
3	熊本	28 13
4	神戸	18 23
5	静岡	17 24
6	奈良	15 26
7	愛媛	14 27

※2月18日現在

B1 東地区		
順位	勝	負
1	東京	32 7
2	宇都宮	32 7
3	千葉J	25 14
4	秋田	21 18
5	群馬	21 18
6	仙台	17 22
7	北海道	12 27
8	茨城	5 34

B1 中地区		
順位	勝	負
1	三遠	34 5
2	三河	25 14
3	渋谷	21 18
4	川崎	21 18
5	FE名古屋	18 21
6	横浜	17 22
7	信州	6 33
8	富山	4 35

B1 西地区		
順位	勝	負
1	琉球	27 12
2	名古屋D	26 13
3	島根	22 17
4	広島	21 18
5	佐賀	19 20
6	長崎	16 23
7	大阪	14 25
8	京都	12 27

神戸移転初年度である今季、これほど外国籍選手に負傷が相次ぐとは予想できなかった神戸ストークス。序盤にI・アームウツド、現在J・キャロラインと、森山知広HCの期待を背負う2人が戦線離脱するアクシデントに見舞われる中、それでも西地区中位にとどまっているのはベテランの奮闘に加え、若手の躍進が欠かせない。

12月30日のアルティエリ千葉戦からスタメン起用されてきた#30金田龍弥は、高い身体能力が魅力のスモールフォワード。波はあるものの2月4日の新潟戦で4本の3ポイントをヒットさせたように外回りのオフェンスと走力、守備力に優れ、指揮官の期待値も高い195cmの24歳だ。また課題のインサイドでは昨季ブロック王のT・ポーターと帰化選手のP・カロンジ磯山に加え、1月27日に合流したM・ヒサタケがプレーオフ進出ラインを死守する粘りを見せる。「タフネス」を合言葉に、激しいディフェンスを身上とする神戸。昇格争いが激化するシーズン終盤へ、見逃せない戦いが続く。

読者プレゼント①

ストークスヘアチケット

神戸ストークスホームゲーム
3.31(日)14:00~

ワールド記念ホールにて行われる、VSベルテックス静岡のヘアチケットを1名様に！
迫力あふれるコートサイド最前列で観戦いただけます。

※応募の詳細はP11をご覧ください。

強敵カナダを4点差で下し、五輪出場を決めて喜ぶ高田真希（#8）ら
女子日本代表=いずれもハンガリー、ショブロン



AFP/アフロ

世界ランキング4位のスペインに対し、9位の日本は序盤から激しいディフェンスで仕掛けてリズムをつかむ。圧巻は日本の3ポイント攻勢。最初の2本を林が決めると、チームに勢いをもたらした。誰もが自信を持って、自分たちのバスケットに徹した。最終的に3ポイント15/40（37.5%）。20得点の林と#30馬瓜エブリン、15得点の山本を中心に全員で勝ち切り、幸先よいスタートで「パリ行き」に手をかけた。

インサイドの弱点を突かれて逆転負け

第2戦 日本 ●75-81○ハンガリー
TQ 22-13 / 2Q 10-19 / 3Q 16-21 / 4Q 27-28

ハンガリーはこのWOQTで戦う3カ国の中で唯一、日本より下位（19位）のチーム。ただし昨年のユーロバスケット4位の實力を誇り、208cmの#44 Bernadett HATARをはじめ「高さ」で日本を上回る……しかも相手のホーム、ここに落とし穴があった。

出だしは日本が優位に試合を進め、最初の10分を22-13とリードする。ところが2クォーター以降はインサイド、特にリバウンドで苦しめられ、32-32の同点で前半を終えた。

後半は山本の3ポイント

第1戦 日本 ○86-75●スペイン
TQ 26-18 / 2Q 20-18 / 3Q 23-21 / 4Q 17-18

大事な初戦でスタメン起用されたのは、SG#27林咲希（キャプテン）、C#8高田真希、PG#32宮崎早織、PF#88赤穂ひまわり、PG#23山本麻衣の5人。サイズ不足は織り込み済みで、それを補って余りあるスピードとスタミナ、粘り強さに加え誰もが3ポイントを狙い、決め切れるのが日本の強み。大事な初戦でその優位性を存分に発揮した。

FIBA Women's Olympic Qualifying Tournament/WOQT

世界が認めた日本女子の進化!

これが、「走り勝つシューター軍団」だ！ 恩塚 亨ヘッドコーチ率いる女子日本代表が『死の組』と評された「FIBA女子オリンピック最終予選2024」を勝ち抜き、男子に続いて出場権を獲得。東京五輪の銀メダルで世界を驚かせた日本の女子バスケが、さらなる進化を強烈に印象づけた（2024年2月8日～11日、ハンガリー・ショブロン）。

ヘッドコーチ

恩塚 亨（公益財団法人日本バスケットボール協会）

選手

- #3 馬瓜 ステファニー（PF/182cm/MOVISTAR ESTUDIANTES）
#4 川井 麻衣（SG/171cm/トヨタ自動車 アンテロープス）
#8 高田 真希（C/185cm/デンソー アイリス）
#12 吉田 亜沙美（PG/165cm/アイシン ウィングス）
#15 本橋 菜子（PG/164cm/東京羽田ヴィッキーズ）
#18 野口 さくら（PF/182cm/アイシン ウィングス）
#23 山本 麻衣（PG/163cm/トヨタ自動車 アンテロープス）
#27 林 咲希（SG/173cm/富士通 レッドウェーブ）
#30 馬瓜 エブリン（PF/180cm/デンソー アイリス）
#31 平下 愛佳（SG/177cm/トヨタ自動車 アンテロープス）
#32 宮崎 早織（PG/167cm/ENEOSサンフラワーズ）
#88 赤穂 ひまわり（PF/184cm/デンソー アイリス）

※平均：174.4cm、27.4歳/所属は2024年2月7日現在

で先行するも、我慢比べが続いて一進一退。3クォーターの終わりに#4 Deborah DUBIEに3ポイントを決められ48-53となり、5点差を追って迎えた最終クォーターは緊迫の展開が続く。

地元の大声援を受けるハンガリーの猛攻に対し、耐え続けた日本は残り30秒で2点差を追いながら決め切れず、惜敗。スタッツを見れば日本「23」、ハンガリー「43」というリバウンドの差が目が行く。が重視すべきは3ポイント。9/28（32.1%）では試投数が足りないのか、それとも……。最終カナダ戦は、相手の3ポイント対策への対応が不可欠で、恩塚ジャパンの真価が問われる。

柔軟な対応力、徹底した遂行力こそ真骨頂！

第3戦 日本 ○86-82●カナダ
TQ 20-20 / 2Q 30-26 / 3Q 20-21 / 4Q 16-15

ハンガリー戦から中一日。この短時間で恩塚ジャパン「走り勝つシューター軍団」はアップデートしていた。口火を切ったのは宮崎の高速ドライブ。山本も続いてスピードのミスマッチでカナダのディフェンスを混乱させた。シューター軍団「を警戒するカナダに対し、日本はペイントエリアで得点を伸ばす。3ポイント成功は4本のみでリードを奪って後半へ。

3クォーターの出だしは相手のレイアップ2本で同点とされ、その後は1ポゼッション差の攻防が続く。日本が5点差をつける局面が2度あったが、結局

日本-スペイン

#	Players	Pts	REB	AST	PF	+/-	EFF	Min
3	馬瓜ステファニー	9	2	0	2	-1	10	18
4	川井麻衣	0	1	1	0	-12	1	8
8	高田真希	8	7	2	2	6	13	20
12	吉田亜沙美	0	2	3	1	8	0	13
15	本橋菜子	Did not play-Coach decision						
18	野口さくら	Did not play-Coach decision						
23	山本麻衣	15	3	4	2	23	16	31
27	林咲希	20	6	1	3	15	25	27
30	馬瓜エブリン	20	3	0	1	3	19	18
31	平下愛佳	2	0	0	2	-4	-4	12
32	宮崎早織	8	1	8	4	3	9	26
88	赤穂ひまわり	4	8	2	2	14	14	22
Team/Coaches		2		0				
Totals		86	35	21	19	11	103	

日本-ハンガリー

#	Players	Pts	REB	AST	PF	+/-	EFF	Min
3	馬瓜ステファニー	7	3	1	2	-7	6	13
4	川井麻衣	2	0	0	1	-10	1	8
8	高田真希	14	3	0	1	1	10	28
12	吉田亜沙美	0	1	2	0	-4	4	13
15	本橋菜子	Did not play-Coach decision						
18	野口さくら	Did not play-Coach decision						
23	山本麻衣	15	6	6	2	4	25	31
27	林咲希	11	2	0	4	15	9	28
30	馬瓜エブリン	1	1	1	2	-19	-7	15
31	平下愛佳	0	0	0	0	-21	0	11
32	宮崎早織	15	1	6	3	-2	17	26
88	赤穂ひまわり	10	5	1	4	13	14	23
Team/Coaches		2		0				
Totals		75	23	17	19	-6	79	

日本-カナダ

#	Players	Pts	REB	AST	PF	+/-	EFF	Min
3	馬瓜ステファニー	8	2	2	3	8	6	18
4	川井麻衣	2	0	1	0	-7	2	4
8	高田真希	6	1	1	5	17	7	15
12	吉田亜沙美	0	2	5	1	-7	6	14
15	本橋菜子	0	0	0	1	0	0	2
18	野口さくら	0	0	0	0	-1	-1	0
23	山本麻衣	21	2	1	2	11	16	32
27	林咲希	4	1	0	3	4	2	30
30	馬瓜エブリン	21	5	2	3	-12	26	23
31	平下愛佳	2	2	0	1	-1	4	9
32	宮崎早織	16	1	4	3	11	16	25
88	赤穂ひまわり	6	5	0	1	-3	6	22
Team/Coaches		2		0				
Totals		86	23	16	23	4	90	

ヘッドコーチ

トム・ホーバス(公益財団法人日本バスケットボール協会)

選手

ジョシュ・ハレルソン(C/208cm/佐賀バルーンズ)
比江島 慎(SG/191cm/宇都宮ブルックス)
須田 侑太郎(SG/190cm/名古屋ダイヤモンドドルフィンズ)
富樫 勇樹(PG/167cm/千葉ジェッツ)
原 修太(SG/187cm/千葉ジェッツ)
阿部 諒(SG/184cm/仙台89ERS)
ジョシュ・ホーキンソン(C・PF/208cm/サンロッカーズ渋谷)
馬場 雄大(SF/195cm/長崎ヴェルカ)
今村 佳太(SG/191cm/琉球ゴールデンキングス)
吉井 裕鷹(SF/196cm/アルパルク東京)
川真田 紘也(C/204cm/滋賀レイクス)
赤穂 雷太(SF/196cm/秋田ノーザンハピネッツ)
テーブス 海(PG/188cm/アルパルク東京)
渡邊 飛勇(C/207cm/琉球ゴールデンキングス)
井上 宗一郎(PF/201cm/越谷アルファーズ)
河村 勇輝(PG/172cm/横浜ビー・コルセアーズ)
三谷 桂司朗(SG/190cm/広島ドラゴンフライズ)
市川 真人(C/206cm/ベルテックス静岡)
金近 廉(SF/196cm/千葉ジェッツ)
川島 悠翔(PF/200cm/NBAグローバルアカデミー)

※平均:193.9cm、26.3歳/所属は2024年2月16日現在

パリ五輪の参加資格を得ている男子日本代表は、真ただ中のBリーグを中断して『FIBAアジアカップ2025 予選』に挑み、来年(2025年)開催予定の本戦でアジアNo.1の座を狙う。予選参加国は東アジアから中東諸国、オセアニアまで広範囲にわたり、長期間の予選(Windows)を勝ち抜かなければならない。現在、日本のFIBAランキングは26位。オーストラリア(4位)、ニュージーランド(21位)には後れを取るもののイラン(27位)やレバノン(28位)、中国(29位)を抑えている。

先日の予選(Windows)のグアム戦(76位)、中国戦では左記の日本代表候補から登録選手が選ばれたが、NBA勢不在の中、今後チームの中心となるのは河村勇輝、比江島慎らのW杯戦士。若手の成長もあり、これからの日本代表(男女とも)の躍進は楽しみでならない。

男子はアジアNo.1へ

スペイン戦で「吠える」馬瓜エブリン(左)を、笑顔で迎える馬瓜ステファニー



AFP/アフロ

70.67の3点リードで4クォーターに突入した。運命のラスト10分、ここでも最初のゴールは宮崎のドライブイン。守備でもボールマンへの執拗なマークを徹底し、リバウンドにもよく絡んだ。残り4:36、79:79の同点となるが、またもや宮崎がレイアップ、高田もゴール下をねじ込んで差を広げ、最後までリードを守り切った日本が3大会連続の五輪出場を決めた。

この試合、3ポイントは7/20(35・0%)。絶対に負けれないこの試合は3ポイントに活路を見出すかと思われた恩塚ジャパンだった(カナダもそう考えたに違いない)がさにあらず、対応力+遂行力の進化と深化を見事に体现。その姿を見届けたファンの期待

加藤誠夫/アフロ



は、パリに向けて大いに膨らんだだろう。なお、山本麻衣がシヨロン会場のMVPに選ばれた。(世界ランキングは2/8現在)

スピードとセンスで世界を翻弄した山本麻衣(23)

	日本	スペイン	ハンガリー	カナダ	勝 敗
日本		○ 86-75	● 75-81	○ 86-82	2勝1敗
スペイン	● 75-86		○ 73-72	○ 60-55	2勝1敗
ハンガリー	○ 81-75	● 72-73		● 55-67	1勝2敗
カナダ	● 82-86	● 55-60	○ 67-55		1勝2敗

※日本、スペイン、カナダ(ハンガリーに勝利)が出場権獲得

パリ五輪出場国…()内は2024年2月11日現在のFIBA世界ランク

【女子】アメリカ(1)中国(2)オーストラリア(3)スペイン(4)カナダ(5)ベルギー(6)フランス(7)日本(9)セルビア(10)プエルトリコ(11)ナイジェリア(12)ドイツ(19)
【男子】アメリカ(1)ドイツ(3)オーストラリア(4)セルビア(5)カナダ(6)フランス(9)日本(26)南スーダン(31)＜残り4カ国は7/2～の世界最終予選で決定＞

YUKI KAWAMURA
BASKETBALL

Sound Mind, Sound Body

#ココロも前へ動き出す



ASICS BASKETBALL
公式Instagramはこちら



LET'S OUT A MERCILESS BATTLE CRY
ONE INVOLVED IN BASKETBALL

HOOPREX STARTING!!!



2024
SPRING
SUMMER

読者プレゼント②
HOOPREX アイテム
オンザコートがいよいよこの春本格リ
リースするニューブランド「HOOPREX
(フープレックス)」ウェアを5名様
(S、M、L、XL、2XLの各1名様)に!!
**最強を身に纏い、
最高の自分になろう!!**
※応募の詳細は
P11をご覧ください。

pursuing strength
and beauty



株式会社オンザコート
<http://www.onthecourt.jp>

本社 兵庫県神戸市中央区港島南町5-4-8 ☎078-303-3377 FAX 078-303-3379
東京営業所 東京都墨田区両国1-8-3内貴ビル1F ☎03-6659-4883 FAX 03-6659-4889



BALLER'S
Hoop Factory



KOBE



FUKUOKA



TAKAMATSU



GIFU



FUNABASHI



SENDAI



YAMAGATA



ONLINE STORE



●取扱い店舗

B.ball	京都	京都府京都市下京区五条通堺町東入塩竈町374 ☎075-352-3905
	梅田	大阪府大阪市北区西天満4丁目11-22阪神神明ビル1F ☎06-6940-0305
	あべの	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目2番30号Hoop5階 ☎06-6622-6758
	名古屋	愛知県名古屋市千種区四谷通1丁目17-1ヨツヤインプレイス1F ☎052-781-0992
	四国	愛媛県松山市萱町2丁目1-11伸栄ビル1F ☎089-921-8882
B.B.JUMP		岩手県花巻市湯本19-109-9 ☎0198-27-2562
フタバスポーツ		埼玉県朝霞市幸町3-4-15 ☎048-467-1128
マイドスポーツ		神奈川県横浜市南区井土ヶ谷下町43 ☎045-325-7909
㈱ダンク・ムラセ平和が丘店		愛知県名古屋市名東区平和が丘5-45 ☎052-726-5608
ヤングスポーツメイト		和歌山県和歌山市小松原6丁目1-50 ☎073-436-6940
PLAY HOOP		兵庫県尼崎市立花町2-1-7 ☎06-4950-8988
エイコースポーツ		岡山県岡山市大供1丁目3番7号 ☎086-231-5897
PORT LAND PARK		岡山県玉野市築港1-10-1
㈱体育社 本店		広島県広島市中区三川町7-5 ☎082-243-1002
ダウントウン		島根県松江市学園南1丁目13番38号 ☎0852-21-3434
トリプルダブル山口店		山口県山口市駅通り1丁目7-7 ☎083-922-0856
スポーツリーグ		大分県大分市大手町2丁目1-10 ☎0975-34-3733
フォーラム		沖縄県沖縄市中央1-16-6 ☎098-934-0876
STEP BY STEP		沖縄県那覇市牧志1-19-16 ☎098-868-7348
スポーピアシラトリ		
湘南藤沢店	神奈川県藤沢市辻堂新町4-3-5ミスターマックス湘南藤沢SC(内)	☎0466-99-0001
黄瀬川店	静岡県駿東郡清水町八幡6-1	☎055-930-8888
静岡店	静岡県静岡市葵区東町66	☎054-254-0171
イオンモール浜松志都呂店	静岡県浜松市中央区志都呂2丁目37-1	☎053-488-6277

関西大学バス界を牽引する京都産業大学と大阪体育大学。男子・京産大の村上和之監督と、女子・大体大の村上なおみ監督、実は夫婦なんです。え？ ご存じ！？ では、自らの無知を盾に、名門大の指揮官という重責を担う2人に「出会い」「子育て」「チーム情勢」を隠せず聞いてみました！

Q1 バスケがなければ出会ってない？

A ともにYES

和之 2011年の学生選抜チームで互いにスタッフに入ったことが出会ったきっかけですからね。鳥(和成・大阪エヴェッサU18HC)が繋いでくれて。

なおみ 私は最初「スカした人やな」って思ってたんです。

和之 そんなことない！

なおみ でも京産大の試合を観ることがあって、タイムアウト中の姿や声かけの内容で「きちっとした人なんや」と。

和之 いや当たり前やから(笑)。意外と真面目なんですよ。《私はスカしているなんて思っていないし言ってません……》

Q2 村上家の会話、やはり大半がバスケ？

A ともにYES

和之 自宅でもふとしたきっかけに(なぜか)オンボールスクリーンが、とか話し出して……。

なおみ 自宅に映像を持ち帰るとお互いの意見を聞くことも多いです。でもオフになったら子どもの話題が増えます。

和之 家族で白浜温泉に行って動物園に行って、みたいなリフレッシュもしますけど、うちの息子(7歳の優和くん、3歳の叶和くん)はインカレやウインターカップにも連れて行くので、それも半分家族旅行ですね。

なおみ 子どもたちにとってはバスケ漬けの生活

です。母親がお世話してくれて助かっていますが、学生もかわいがってくれています。《ちなみに叶和くんの名付け親は学生さんだそうです》

Q3 子どもにはバスケしてほしい？

A 和之監督はYES、なおみ監督はNO

和之 やってくれたらうれしいな、という意味で。

なおみ 私はどっちでもいい、という意味で。あまりにバスケ漬けだから「嫌かな」と心配したけど優和が昨年、自分から「やりたい！」って言ってきて、楽しそうな姿を見て安心しました。

和之 本当は僕の現役を見せたかったんですけどね。でもドリブルとかシュートとか、自分から「教えて」と来てくれるので、そこは素直にうれしいです。《私まで感動して泣きそうです》

Q4 子育ては指導観に影響する？

A ともにYES

なおみ 考え方が柔軟になったと思います。厳しさはもちろん大事にしていますが、例えば選手がミスをした時、なぜそれを選択したのか聞くようになりました。私自身、自由な発想を子どもからも学生からも学ぼうとしています。

和之 相手に具体的に伝える方法や知識を身に付けないといけない、と考えるようになりました。それと学生の親の気持ちも「心底」わかるようになりました。選手の家庭環境も思い浮かべながら指導しています。《良い親は良いコーチ、ですね》

Q5 互いに相手より「これは勝っている」こと、教えて。

和之 気の長さです(笑)。これは時代の影響もありますが、厳しい上下関係の中で育った身ですから、いろんな葛藤を乗り越えて、物事を長い目で見るようになったなど。

なおみ 私は切り替え力。例えば試合に負けて一瞬落ち込んでも、それはチームのためにならないから前に進むために対応しようと努めます。これは家庭でも一緒。イージーシュートを落とした選手、ジュースをこぼした息子、どちらも追及するのではなくて対処が大事なかなと。《ミスをひたすらなっている人、たまにいますよね》

Q6 最後に新チームについて(表記は新学年)

京産大 下級生時から経験を積んできた最上級生を中心に、全国4強を目指します。伝統である堅守速攻が原点。#9宇都宮陸(4年)を核にフルコートでアタックして、関西はもちろん全国に存在感を示したい。キーマンは#24アジャイ・アーノルド(4年)。チームディフェンスの重責を担う役割を期待しています。入学予定の太田凜(大阪学院大高)はスケールの大きなポイントゲッターです。

大体大 昨年新人インカレで優勝したメンバーが中心です。関東のレベルはやはり高いですが日本一という目標に向けて、1年時から中心を担った#11日高ひかる(4年)も最上級生。注目は、身体能力に加えてプレーの幅が広がってきている#19アイェビドゥン・グレイス(2年)や、3×3日本代表としても活躍する#15三次真歩(2年)。新入生にも大上粹奈(広島皆実高)ら有望選手がそろいますから期待してください。

終了後、「大きな目標は？」と聞くと声をそろえて“アベック日本一”でした

大阪体育大学

村上 なおみ
NAOMI MURAKAMI

大阪府生まれ、佐賀県育ち。佐賀清和高〜大阪体育大。卒業後の2001年からアシスタントコーチ。2017年監督就任。旧姓山田。44歳。

「真面目」にまっすぐ 伝統×柔軟＝進化

SPECIAL CROSSTALK

未来を見据え今を戦う 若者導く「人間力」

京都産業大学

村上 和之
KAZUYUKI MURAKAMI

大阪府出身。東住吉工高〜京都産業大。JBL bjリーグ等でのプレーを経て2008年から京産大コーチ、入籍した2013年から監督。47歳。



#11 日高 ひかる



#19 アイェビドゥン・グレイス

師匠の厳しくも温かいメッセージ

2人をよく知る大阪体育大学女子前監督の中大路哲さんに、思いをちらり、聞いてみた。

「小さい子どもを育てながら負担は大きいと思うが、よくやっているなと思います。指導に関しては、昔はとにかく徹底してやらせたが今は違う。今時の学生に『徹底の度合い』を図りながら教えるのは大変だけど、結果を追い求め続けてほしい。カズのことはよく知らないけど(笑)洗濯物の干し方とか「きちっと」してるし、私と似たところがあって、意外と気が合うんですよ。ミトは良い男性と家族になってくれたから、これからもきっと切磋琢磨しながらいい関係を築いて、2人で頂点を目指してくれるでしょう」



#24 アジャイ・アーノルド



#9 宇都宮 陸

Mini basketball team special feature

第55回 全国
ミニバスケットボール大会

全国47都道府県から男女各1チームの計94チームが出場する「全国ミニバスケットボール大会」は、優勝を決めずに「結果ではなく、練習の成果を試す腕試し」として行われるリーグ戦だ。大きな成長の機会となる晴れ舞台、今年は3月28日に開幕する。



各自が役割を果たすチームプレーの徹底が特長

今回紹介するチームは、兵庫県男子代表の「福住ドリームマジックス」。25年前の創部以来初の全国大会を心待ちにする、元気さと礼儀正しさが同居するチームだ。

米山憲代表がチームを立ち上げたのは、阪神・淡路大震災の爪痕がまだ神戸の街中に残っていた1999年。実はこの四半世紀の間に2度、チームは兵庫王者になったが、当時の規定で出場できなかった。現在部員は男女各30人。「一球一心」「百折不撓」を合言葉に、具体的に各々が「叶えられる夢」を積み重ねて「魔法」の実現を追い求めてきた。男子チームを率いる遠藤早絵コーチは「声と笑顔」の大切さを子どもたちに伝え続けている。その思いは確かに届いているようで、主将の明石卓吾君は「常に声掛けし合って試合中も励まし合えるのが僕たちの強さ」と胸を張り「強い相手と本気で戦えるのが楽しみ」と目をきらめかせている。

5年生時から試合経験を積んだ6年生を中心に夢をつかんだ「福住ドリームマジックス」=いずれも神戸市灘区、福住小



●出場予定チーム

	女 子	男 子
北海道	旭	白石
青森県	造道	白鷗
岩手県	江釣子小	山目
秋田県	港北	港北
山形県	余目	桜田
福島県	白河城西	ふねひき
茨城県	宮和田	田彦
栃木県	雀宮	ABILITIES
群馬県	みどり笠東	高崎北部
埼玉県	所沢泉ドルフィンズ	大宮中川
千葉県	絆	坪井
東京都	開校 MBC	リトルスターズ
神奈川県	KJr	若松
山梨県	数島南	塩山
長野県	西部 GS	川中島
新潟県	fighting girls KAMEDA	BOMBERS
富山県	庄東	ウエスタン・キッズ
石川県	未定	未定
福井県	春江	敦賀 BLITZ
岐阜県	大垣	大垣
静岡県	北郷成美	FMC
愛知県	昭和	日進
三重県	長島オールスターズ	箕田
滋賀県	草津燕	草津 OSC
京都府	日新	ザ・イーグルス
大阪府	沢池	FALCONS
兵庫県	西宮浜	福住
奈良県	都跡	西大寺
和歌山県	田辺	SUNRISE
鳥取県	外江	岩倉
島根県	川津	古江
岡山県	清音	岡山西南
広島県	Oceans Dream	五日市観音
山口県	和木	佐波
徳島県	加茂名南	八万
香川県	栗林	円座
愛媛県	神郷	清水
高知県	大津	朝倉第二
福岡県	壱岐 LS	DREAMS
佐賀県	長松	江北
長崎県	時津東	西城山
熊本県	サンズ	NAGOMI
大分県	宗方	日隈
宮崎県	清武	都城東
鹿児島県	桜丘	桜丘
沖縄県	中原	高江洲

※石川県は能登半島地震のため予選大会中止

ON THE COURT クリニック in 長野

元日本代表選手で「バスケットボールアカデミー ガウチョーズ」設立者でもある目(さっか)由紀宏さんが2月、長野市内で中学生対象のクリニックを開いた=写真。元プロ選手でガウチョーズ群馬コーチを務める長男の目健人さん、元月刊バスケットボール編集者で劇場版スラムダンクでは「バスケ監修」を担当したプロコーチ山本達人さんとともに、男女約200人に技術指導した。

次号「Hustle Board」にて3人のコーチをはじめ、全国各地でバスケットボールクリニックを開催する指導者たちの真の狙いや、計算しつくされた練習メニュー、育成年代の選手とその指導者たちへの熱い思いなどを特集します。ぜひ、お楽しみに！



倉庫改修屋内レンタルコート

KOSOREN

港町の物流を支える倉庫を改修した本格的レンタルコートが、兵庫県神戸市の兵庫運河沿いにある。その名は「KOSOREN(コソレン)」。空いた時間にふらっと寄って、コソっと練(レン)習、してみると……。

公設の体育館を使用するには抽選で、しかも倍率が高い。練習場所の悩みを抱えるケイジャーは全国各地に多いはず。個人や少人数での練習をサポートしようと、2022年6月にオープンしたこのコートは奥行き約24m、幅10m超。1時間6,600円(会員現金価格)で貸し切り利用、個人利用は1時間1,000円で、気兼ねなくドリブルも3ポイントシュートも練習できる。3層構造の特殊床材を敷設することで「反発性」と「クッション性」を体育館レベルで両立し、壁に直接取り付けられたリングは日本協会検定品。ハーフコートの一隅に倉庫の名残である柱が1本そびえるが、数秒遅れの映像を大型ディスプレイで確認できる。3×3のプロリーグに参戦する「神戸ディプロ」が練習拠点としており、本格的な練習環境が整う。

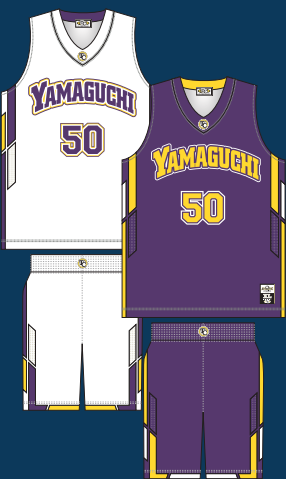
元Bリーガーで同チームの主将を務める武田倫太郎選手は「床材はグリップも十分に動きやすく、脚への負担も少ないので安心。ディレイ(遅延)映像は動き方のチェックに活用している」と信頼を寄せる。施設の運営を担う三木達朗さん(34)は、総合型地域スポーツクラブの理想を追い求める過程でオープンに踏み切った経緯をふり振り返りつつ、地域スポーツコミュニティの可能性を思い描いている。



子どもの「夢」に「魔法」をかける

Special conversation

プロショップ経営と高校生指導の二刀流で、バスケットボールシーンを見つめ続けてきた2人だからこそ語り合えた「特別対談」後編。男女ともに飛躍を遂げ、かつてない盛り上がりを見せる日本バス界の未来を語り合う。



TRIPLE DOUBLE
代表 河上 年博

山口県山口市出身。2001年、地域のスポーツショップだった『マルヤスポーツ』をバスケットボール専門店『トリプルダブル』に改装。代表を務めながら、1976年より母校・県立山口高等学校男子の指導を続けている。同校でインターハイ9回、ウィンターカップ11回出場。

TOSHIHIRO KAWAKAMI



STEP BY STEP
代表 屋嘉謙吳

沖縄県那覇市出身。1984年にプロシヨップ『ステップバイステップ』（那覇市牧志1-19-16）をオープン。有限会社 step by step 代表。小禄高、那覇商業高を経て、母校・県立那覇高では女子の指導を1997年・2003年まで務めた。インターハイ6回、ウィンターカップ7回出場。

KENGO YAKA

東京2021日本女子の銀メダル

屋嘉 東京五輪もう3年前になるんですね。本当に素晴らしい快挙でしたけど、もしあの時のあのアリーナに超満員の観客がいれば、昨年の男子W杯のように観客の大声援に包まれる中での歓喜だったら、女子バスケの株はもっと急上昇していたと思います。メディアが、妻さは伝えてくれたけど、大観衆の熱狂があったらさらに女子バスケの価値を上げてくれたたの、というのは今でも考えますね。

河上　そうですね。それにしても正直、メダルはまったく予想できませんでした。トム・ホーバスHCの3ポイントシュートを重視した戦術は、誰もが単純にそうしようと考えるかもしれないけど、簡単にできるはずもない。それを徹底して成功させたことが本当に凄い。恩塚享HCはフリーランスオフェンスの要素も含めてパリ五輪に挑みます。各国から対策を立てられて大変だと思うけど、高田真希主将の頑張りも知っているの得上手くいつてほしいなと思います。

屋嘉 世界的に見ても、プロリーグがない国がメダルを取るつて凄いいことです。他の強豪国はプロ選手が中心でしょう。日本の女子はレベル的にはプロだけど、プロ化は現実問題難しいとは思ふ。個人的には観客の規模というのは強化における大きな要素だと思ふんですよ。それでも日本の女子は今も世界ランク一桁、本当に誇るべきことです。

河上 高校生が全国大会に出るとその経験を経て上手くなりますが、ましてや世界で12チームしか出場できないオリンピックともなれば、その経験値は計り知れないと思います。

屋嘉 指導者もそうですよ。大歓声に包まれる中で戦える喜びというか。

河上 野球でいえば甲子園みたいな、たくさんのお客さんの中でやるのは選手にとっても指導者にとっても、モチベーションを上げてくれる大きな要素ですね。

ワールドカップ2023の記憶

河上　実は昨年のW杯で初めて沖縄アリーナに行きました。凄いいとは聞いていたけど、やっぱり凄かった。結構上の席でも観やすかったです。ビジョンも明るさも、出来が違う。ワクワク感がずっと最高潮でした。あのフィンランド戦の前、入場待ちの列で私の前に河村勇輝選手のご両親がいらっしやって、「今日はやってくれないと困りますね」などと話していたら、あの大活躍。マルツカネン相手にあの大逆転劇、凄かったです。満員の観客で沸き返る歴史的な現場に立ち会えたことは本当に幸でした。NBAの試合も観てきたけど今まで一番興奮したた

経験でした。会場（＝応援）の力をすごく感じて、その余韻で夜は眠れなかった。

屋嘉 あの日は特別でしたね。現実と夢がごちやまぜになっている感じで。私は会場運営も

しながら、「しかも沖縄で……」という思いで夢見心地でした。会場全体が一つになつて、のめりこんでいったというか。ゲームは選手、チームだけが作るものじゃなくてファンも一緒になつて作り上げるものだとして認識しました。やつぱり選手は見られることで絶対良くなります。琉球ゴールデンキングスも沖縄アリーナが出来て確実に一段階上がりましたから。

河上 沖縄についていう場所には自然にそっくり文化が根付いてきたから、たくさんの人がリピーターになるんですよ。例えばラーメン屋さんでも最初は興味本位で行っても美味しくなかったら行かなくなる。また食べたくなるような魅力を打ち出せないと続きません。

屋嘉　しかしあの熱狂を知ってしまったら、パリに向けてお金貯めている人、たくさんいるんじゃないですか。

河上　私もたくさんの人に「やっぱり行くんですか」って聞かれます(笑)

盛り上がりの中の強化

河上 ただこの男女日本代表の盛り上がり
を意味あるものにするために、今後の強化は
大事になりますね。日本協会の方針はあるけ
ど、地域事情が違うので試合数を増やして経
験値を上げる、ということが画一的には進め
られない都道府県もあるでしょう。良かれと
思うことでもフオーカスする場所を間違える
と現場が混乱することもあります。例えばミ
ニのマンツーマンルールは、1対1を強くする
という意味では根本的に正解だと思えます。だ
けど試合を見るとボールを持ちすぎたり
アイソレーション(＝意図的に1対1の状況を作
り出す戦術)したり、本来の目的を達成する
のに効果があるのかと思うことも多い。レール
を敷いた方がいい場合と、自然発生的な流れに
任せた方がいい場合もありますね。

屋嘉 47都道府県が同じステージではないですし、例えばある県はまだ弱いから強くなり
たい、必要なプログラムを受けて進めたいとい
う場合もあれば、福岡のように独自の強化策
をどんどん進めているところもあります。沖
縄でも那覇市のミニバスはもう3ポイントライ
ンを引くなど独自ルールを作ろうとしていま
す。各地の創意工夫はあれこれ悩むより、まず
やってみようとしたほうが可能性は広がると
思いますね。

河上 バスケットというのは5対5で、どうやってズレを作るか、どうやってスペースを空けるかっていう作業の連続だから、早いパス、強い

ミート、スクリーンプレー、いろいろあるけど、ボールを持ちすぎるとやつぱり限界がある。ミートだけの話ではなく、スキルだけを磨いても本当の意味で上手くはならないですね。

屋嘉 それと今、若い選手は目指すものが明確でないとい(指導も成長も)難しい時代になっていると思います。男子ではプロになるためにどう進むか、どこを選ぶことが近道か、などの視点で考えれば多くのゲームができるチーム、選手を作る仕組みを持ったところに入った選手がそのまま有利になるような状況になってきています。

河上 ニールが全国大会に出ることじやなくて、トップ選手になる近道はどこかとなれば、そこには強烈な競争原理が働きます。プロになっても結果を残さなければカットされるのでも、自分で努力するしかないですが、育成年代でもチームによつては自分のポジションでプレータイムが少なければ移籍して、というような競争も始まっています。今季のBリーグは満員の試合も増えて、集客力が確実に上がっています。盛り上がっているけど、もし冷めたゲームをやるようならその盛り上がりが一気に逆転することもあるかもしれない。厳しい世界だからこそ（選手も観客も）モチベーションが高まっているのが、重要な時期になることは間違いないですね。

プロシヨツプの視点でバスケット文化を考える

屋嘉 地域で長くバスケットボールに関わってきた立場から、恩返しではないけど今は競技から離れて保護者になった人たちにもう一度光を当ててやることはできるのかなと思っていました。昔の苦勞や活躍を知っている人間は限られています。昔年、SNSで昔の興南高校の選手やチームのことを、懐かしい写真と一緒に投稿したら、当時ファンだったという女性たちからたくさんさんの反響をいただきました。

河上 まったく同感です。(ネットショッピングが主流で)リアルな店舗が少なくなる中、店に来てもらってバスケット談議に花を咲かせるような努力は、我々プロショップにとっては絶対に必要なことだし、私たちにしかできないことだと思っています。

屋嘉 専門店でその街の昔のチーム、今は親やコーチになった大人が選手だったころの話を聞けたり、子どもたちがウェアやシューズを選びながら仲良くなったりできる「ステーション」のような存在になれば、バスケット文化に厚みが生まれて、すそ野が広がっていくと思うんです。そんな未来が私たち自身の幸せでもあるのかって。

河上　そういう存在としてバスケット界の発展を支えていけたら、本当にうれしいですね。

バスケットボールにまつわるあれこれを
幅広くお届けします。

ハッスルボード編集部
Hustle Board Editing Division

TOPIX
all about basketball

音響DJ

コート

くきや

アリーナ音響DJのお仕事

Arena Sound DJ



「ウォーッ!」「♪♪♪~」
「ディッ、フェンス!」「♪♪♪~」
「カモン!!!」「♪♪♪~」。

アリーナに響き渡る観客の歓声を、無理やり文字化してみました。大歓声による盛り上がりはもちろん、選手の気迫あふれるナイスプレーによって生み出されるものです。が、アップテンポなリズムを作り出し、軽快なメロディーで波を上げ、力強いビートで苦境にある選手を鼓舞する「音」のスペシャリストがいること、ご存じですか？ 神戸には、現在B2西地区で戦うストークス(兵庫⇒西宮⇒神戸)誕生以来12年にわたってアリーナ音響DJを務める達人がいます。

安永英治さん(55)は「兵庫」時代からお馴染みのベテラン。ミニバスで全国大会、O50(50歳以上)大会でも全国3位となった現役選手でもあります。チームとゲームを熟知する安永さんはコートサイドの専用席から、試合展開に応じた音響をタイミングよく出し続けます。攻守が激しく入れ替わっても冷静に、目の肥えたファンにも違和感のない観戦を「アシスト」し続けているのです。「展開の邪魔をせず、盛り上げたい。それでチームが勝てば最高」と安永さん。会場であひ、一瞬、音響DJの妙技にも酔いしれてみては？

安永英治さん(55)は「兵庫」時代からお馴染みのベテラン。ミニバスで全国大会、O50(50歳以上)大会でも全国3位となった現役選手でもあります。チームとゲームを熟知する安永さんはコートサイドの専用席から、試合展開に応じた音響をタイミングよく出し続けます。攻守が激しく入れ替わっても冷静に、目の肥えたファンにも違和感のない観戦を「アシスト」し続けているのです。「展開の邪魔をせず、盛り上げたい。それでチームが勝てば最高」と安永さん。会場であひ、一瞬、音響DJの妙技にも酔いしれてみては？

ぶらり街コート

Hang Around Outside Court



ドブレイス博多に隣接していて、しかも営業時間は午前9時～深夜1時!と利便性抜群。某有名インフルエンサーのミュージックビデオにも使われたというロケーションの中、潮風を感じながら楽しむバスケ、ハマりそうです。

もともと同じエリアでフットサルコートを営業していた「アイズスポーツパークベイサイド」さんが、タワーを挟む形で開設したバスケのオールコートは2面あって、福岡の3×3プロチームの練習場所になったり、毎週金曜夜には個人参加型大会が開かれたりするなどいろんなイベントが開かれています。事前予約してコート1面1時間、平日午後4時までは3,300円、平日の午後4時以降と土日祝日は6,600円で利用できます。ちょっと多めの仲間と集まれば、単価は安くなりますね。

最後に個人的なおすすめポイントは隣にある人気の温泉施設。思いっきりプレーした後も汗を洗い流して、すっきりと中洲に繰り出せます!

散策人

田村 建一郎 KENICHIRO TAMURA
お酒とバスケをこよなく愛するアラフォー男子。福岡を拠点に九州各地を巡りながら、美味しいラーメンの発掘に励む。山口県出身。



OTC くきや通信

OTC Kukiya Report

いつもOTCくきやの応援ありがとうございます! 1月27、28日に兵庫県赤穂市で開かれた試合で、今季西日本地域リーグが終了しました。OTCくきやの最終順位は6位、残念ながらチャンピオンシップの出場切符は勝ち取れませんでした。シーズンを通して会場で、またYouTube配信等で応援してくださった皆様、たくさんのお押しをありがとうございました! 兵庫での開催ということもあり普段試合に来られない方まで駆け

つけて下さいました。今季はなかなか勝利に恵まれず負け続きでしたが、最終戦で全員一丸となって勝利することができ、来季に繋がる終わり方ができました。目標としたリーグ4強には届きませんでしたが、この経験を糧にこれからも私たちが感謝を忘れず、皆様から愛されるチームを作っていきます。来シーズンも沢山の応援、お待ちしております!!

報告 | #9 矢田貴海 KIMI YATA



アンケートに答えて
豪華プレゼントを
もらおう!!

読者
プレゼント

①神戸ストークスホーム戦(3/31、VS静岡@ワールド記念ホール)コートサイドペアチケット ②HOOPREXアイテムのいずれかをプレゼントします。当選された場合、誌面掲載にご協力いただく場合があります。予めご了承ください。

1 神戸ストークス3/31
ホーム観戦ペアチケット

1名様

2 HOOPREXウェア
(S・M・L・XL・2XL)のいずれか

計5名様

締切

ストークスチケット ▶ 2024年3月18日(月)12時00分

HOOPREXウェア ▶ 2024年4月30日(火)12時00分

※回答はお1人1回までとさせていただきます。
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
※HOOPREX当選者への発送は2024年5月上旬を予定しています。
※チケット当選者には締切日当日にメールにてご案内させていただきます。
※本アンケートは予告なく変更・中止させていただく場合がございます。

スマートフォン、PC、タブレットから応募

<https://x.gd/fu7Bs>

にアクセスしてアンケートに
お答えください。



※一部の端末・機種でご利用いただけない
場合があります。予めご了承ください。

column
オンザコート社員
コラム
vol.3

デザイン現場の あるあるとは?

バスケットボール専門メーカーであるオンザコートでは年2回、新商品を発表します。さらに大きな大会がある時には記念Tシャツやグッズ、またまたチームオーダーに応じてオリジナルグッズを作成しています。さて今回、そんなオンザコートの商品「デザイン」を担当するデザイナーから、あるあるネタを通じてデザイン現場の内情をお伝えしたいと思います。

●街中のアパレル商品やポスターを見て「あ、○フォント(=書体)使ってる」など、そこに目が行きがち

→フォントの印象って、大事ですねえ。じっくり選ぶことをお勧めします。

●買い物中もつい自社のカラーコード(KEL、MRN、DAPなど)で呼んでしまう

→ちなみに読み方はケリー、マールン、ダップです。

●試合会場で見かけるユニフォームは規定に収まっているのか、勝手にチェックしてしまう

→JBAの規定をかつり、しっかり読み込んでデザインを提案しているんです。

●個人名のローマ字が「TU」で来ると「TSU」じゃなくていいかな、と勝手に気にしてしまう

→ローマ字にした場合の見目の違和感、実は結構気になります。

●イメージ画像で使われているフォント通りに、文字を打ち替えて作って欲しいと言われ、ピッタリそのフォントを探し出せた時が結構嬉しい

→このイメージならこのフォント、という知識をデザイナーは常に持っているんですよ。やっぱりフォントはじっくり選ぶことをお勧めします(2回目)

●昇華別注の新規オーダーでS、M、XLと発注が来て、すぐに追加注文でLが来たときげなんでもやねん」と心の中でツッコミを入れてしまう(こちら!)

→初回、いわゆる「歯抜けオーダー」の時は、注文がその時なくても間のサイズも作ってストックすることがあります。追加注文に即応できるためです(エッヘン)

いなかででしょうか。「デザインそのものの話」は奥が深すぎるので、またの機会にお伝えしたいと思います!

デザイン部
SAYO HAYATA
隼田 紗代

大阪府出身。社内では圧倒的少数派であるバスケ未経験者。体育の授業でしかボールに触ったことがないまま2012年、オンザコートに入社した。



2024年3月、4年ぶりに「OTC USA TOUR」が復活します。NBAやNCAAのゲームを現地観戦、大学のキャンパスやゆかりの地を訪れてアメリカのバスケットボール文化を「見て」「知って」もらおうと、オンザコートが2008年に社員研修として開催したのが始まり。取引先の皆さんや一般応募の方々も参加するようになり、バスケットボール専門メーカーにしか企画できない中身の濃いツアーを提供してきました。ここ3年間はコロナ禍で計画が頓挫していましたが、今年、満を持しての復活開催となりました。行き先はロサンゼルスとラスベガス。参加者13名と、予定される試合全てを観戦すると20ゲームを超えてしまう11泊13日の殺人的なスケジュール。考えただけで今から身震いが止まりませんが、久しぶりのアメリカツアーを前にこれまでのトラベリング歴史を振り返ってみようと思います。

文 西崎 浩彰
text by Hiroaki Nishizaki
神戸生まれ。学生時代10年間バスケットボールで汗を流し、現在は観戦専門。新型コロナ禍で観戦旅行が出来なかった時、NBAコーチのトニーさん(アントニオ・ラング 現アトランタホークスAC)が送って来てくれた直筆絵画が宝物。



2008 記念すべき第1回目は参加者3名、ラブとラスのUCLA堪能!

サンディエゴでWCCTーナメントファイナルを観戦し、翌日、サンディエゴ大学とサンディエゴ州立大学の施設を見学してからロサンゼルスを目指して北上。LAではNBA観戦、ステープルズセンターでPAC10トーナメントを観戦して、片っ端から近郊のディビジョン1の大学を回りました。この年のPAC10優勝校はUCLA。ケビン・ラブ、ラッセル・ウエストブルックの活躍はいまでも脳裏に焼き付いています! そして地元だけあってUCLAの応援団は半端なかった。熱狂の決勝戦後、BIG WESTトーナメントの決勝が行なわれていたアナハイムへ。決勝戦のハシゴは個人的にもこれが初めてでした。



ステープルズセンターのストリートビュー



ジム・カルフン元コーチ(左)と

2009 参加者2名の小所帯、日本人NCAA選手を応援!

マサチューセッツとニューヨーク、ラスベガスが目的地。マサチューセッツでの目的地はスプリングフィールドにある殿堂「ネイスミス・メモリアル・バスケットボール・ホール・オブ・フェイム」の訪問です。さらに競技誕生の地、スプリングフィールド大学にも。コネチカット大学では、偶然遭遇したジム・カルフンコーチに写真撮影をお願いしたのですが、これが私の2ショット写真攻撃の始まり。ニューヨークではコロンビア大学を観戦し、この年はKJ松井(現香川)の大学ラストイヤーでNCAAを舞台に活躍する日本人選手の姿に感激! さらにラスベガスのWCCTーナメントではポートランド大学の伊藤大司を応援しました。

2012 アリゾナ~カリフォルニアへ参加者5名、なぜかUCLAに潜入成功!

NCAAトーナメントリージョナルファイナルを含む計3試合を観戦。NCAAトーナメントの初観戦でした。その後LAへ移動し、ステープルズセンターでレイカーズとクリッパーズを連日観戦。合間にUCLAをふらっと訪問すると、バスケットボールオフィスで当時男子チームのHCだったジム・ハリックさんの部屋に入れてもらえることになり、ボールとTシャツを貰ったのが良い思い出となりました。



MGMグランドガーデンアリーナ

2013 サンフランシスコ&ラスベガス参加者6名、PAC12でまさかの寝落ち!

PAC12トーナメント中心の行程に変貌を遂げた転換点。と同時に、ゲーム中寝落ちすると他の参加者から即SNSに投稿される弄りが生まれた、個人的には忘れられない年です。

2014 サンフランシスコにラスベガス、LA、サンディエゴで男女NCAA観戦!

前年と同じ参加者数6名で、サンフランシスコで当時は手ごろな値段だったゴールデンステートウォリアーズのホームゲームを堪能し、ラスベガスでPAC12トーナメントを観戦。同カンファレンスはその名の通り12チームが所属、1回戦から決勝戦までを観ると4日間で11ゲーム(!) NCAAの試合を満喫できます。この時はサンディエゴとLAの中間に滞在して、男女両方のNCAAトーナメントを初めて観戦した年でもあったのです。



アリゾナ大の故ルート・オルソン元コーチ(右)と

2015 サンフランシスコ、ラスベガス、ポートランド、参加者6名。アリゾナ大祭り!

この年はなぜかアリゾナ大学に縁があり、行く先々でゲームを見た記憶しかありません。アリゾナ・ワイルドキャッツの応援団の凄さを肌で感じ取った年でもあり、現在A千葉でプレーするブランドン・アッシュリーの存在を知ったのはこの年だったと記憶しています。



UCLAバスケのマーク・モングメリー元コーチ(左)と

2016 サンフランシスコ、ラスベガスへ参加者を10名に増やして歴訪!

2013年から3年連続、ラスベガスでのPAC12トーナメントチケットを買っていたためか、初めて優先購入案内が来て良



世界一有名な看板「ラスベガスサイン」



い席を確保できました。が、飛行機が遅れて4試合を棒に振ってしまった残念な年でした。旅行保険って入っていた方が良く、この時痛感したものです。

2017 ロサンゼルス、ラスベガス、サンフランシスコへ参加者10名でランニング!?

前年に引き続き乗継便の遅延(!)で、NBAゲーム観戦の前半を棒に振りましたが、初渡米の人たちはそれなりに楽しんだ様子だったのが唯一の救い。自分は渡米中、増加する体重を何とかしようと毎朝ランニングをしていたのですが、この年同行した若手がなぜか参加してくれて、アメリカ青春ドラマのような雰囲気になったのが良い思い出です。



PAC12トーナメントの巨大記念品

2018 夏の超忙しい中! NBAサマーリーグを観にラスベガスへ、参加者10名

渡邊雄太がブルックリン・ネッツの一員として参加した年で、彼のプレーが最大の目的……のはずが、それを超えてきた一番の思い出は、ある参加者がラスベガス到着直後に全財産入りの巾着袋を落としたこと。お金は分散して持つべきと目の前で学びました。土地柄、みんなでお金を取り戻そうと意気込んだものの、あえなく惨敗……。

2019 ラスベガス、ユタ、インディアナ、ケンタッキーを2人で巡る濃い旅

人数が少ない旅だと濃密な体験が出来ることもあったと気付かされました。個人的にアメリカ人コーチの方々と親交が広がったのはこの年だったような気がします。



ルーキーイヤーのクレイグ・アレン選手(右)と

2020 COVID19まん延直前、ルイビルとワシントンDCへ、26名の大所帯!

参加者は過去最高となる26名。八村塁のルーキーイヤーを目撃するためワシントンDCへ。大阪の専門学校とのコラボ企画で日程調整は本当に大変でしたが、NBAやNCAAはツアー人数が多いと特典もあるため、大所帯も悪くないと感じたと同時に、苦労した準備作業も良い経験となりました。



渡邊雄太選手(後方中央)と私(右から3人目)

あれから丸4年、みなさんと日本から出られない日々が続きましたが、今回久しぶりに開催するOTC USAツアー、どんな珍道中になるか今から楽しみで仕方ありません。それでは、次号「HUSTLE BOARD」での報告をお楽しみに……。